

# 宇宙に見る夢

## サッポロスターライトドーム

道内初の民間プラネタリウムとして、サッポロスターライトドームが手稲区にオープンして今年で四年目。札幌市青少年科学館のプラネタリウムに次ぐ道内二番目の規模と、全国で初めて設置されたドーム状のサラウンド<sup>※</sup>などの設備を誇りますが、さらに特筆す



べきはプラネタリウム用に作られたアニメーションです。ギリシア神話などを題材にしたプラネタリウム用のオリジナルアニメーションを、シナリオ作りから吹き替えまで一貫して自社で制作。出来上がったアニメーションはスターライトドームで放映するだ



▲レコーディングスタジオ

けでなく、全国のプラネタリウムにも配給しています。

### ★ 高い評価と大きな需要

「実際に放映したときのお客さんの反応を肌で感じ、それを作品に反映するという形で質の向上を目指してきました。その点で、プラネタリウムは採算性だけでは計り切れない意味を持っています。道外から足を運んでくれる人や何度も見に来てくれる人もいて、大きな励みになるとともに、責任も感じています」と代表取締役の保谷圭樹さん。アニメーションの配給先で入館者が軒並み増加していることから、評価の高さと需要の大きさを感じており、今期配

### ★ プラネタリウムをもっと身近に

給した全国十四館でも好評を得ているといいます。また保谷さんは、商品は金額に見合った満足を与えられるものになければならず、質が高くても価格が高いために利用されなければ意味がないという信念を持っていきます。そのため、相場より安い価格で提供しており、各地の施設の放映内容充実にも貢献しています。

これまでは技術や知識の蓄積に力を注いできましたが、今後はそれを使ってさらに幅広い事業を展開することのコンピュータグラフィックスを用いて宇宙を舞台としたアニメーションを制作したり、アニメーションの技術を、地域の企業の安価で効果的な宣伝のために提供したりすることも考えているそうです。

また最近では、授業の一環としてプラネタリウムを利用する小学校が増えており、親と一緒に参加する例も少なくありません。そのため、親子で一緒に楽しみながら、メッセージを感じてもらえるように

していきたいと言います。「今後は、各地のプラネタリウムがそれぞれ魅力あるものになることで相乗効果を生み、幅広い層の人に多様な満足を与えられるようになることが求められると思います。そしてその結果、多くの人にプラネタリウムをもっと身近なものとして楽しんでもらえるようになるとうれしいですね」と話す保谷さんの目は、常に先を見つめています。

### ◀ 彩色 (原画に色を入れる作業)



作画 ▶ (原画を描く作業)

